

第五十六回帝國議會
衆議院

明治四十年法律第十一號中改正法律案(癩豫防ニ關スル件)委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
明治四十年法律第十一號中改正法律案(癩豫防ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和四年三月一日(金曜日)午後二時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 大里廣次郎君

理事 田中 養達君

木村三四郎君 中崎 俊秀君

鈴木 文治君

同日委員山本宣治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鈴木文治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務參與官 加藤久米四郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務省衛生局長 山田準次郎君

內務技師 高野 六郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

明治四十年法律第十一號中改正法律案(癩豫防ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

○大里委員長 只今カラ明治四十年法律第十一號中改正法律案ノ委員會ヲ開會致シマス

○田中委員 本案ノ提案ノ理由ヲ簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○加藤政府委員 本案ニ對シマスル改正理由ハ、本會議ニ於テ申述ベシタル通り、國立癩療養所ハ昭和二年度以降

三箇年繼續事業トシテ、既ニ第五十三議會ニ於キマシテ、其建設費ノ御協賛ヲ得マシテ、目下工事中ニアルノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ現行癩豫防ニ關スル法律ノ中ニ、次ノ二點ヲ改正スル必要ガ生ジタノデアリマス、即チ其第一點ハ、國立癩療養所長ニ道府縣療養所長ニ於ケルト同様ニ、收容中ノ患者ニ對シマシテ懲戒又ハ檢束ノ權能ヲ與ヘルト云フコトデアリマス、又第二

ハ、國立癩療養所ニ收容致シマスル患者ノ救護費ハ國庫ニ於テ負擔スルノヲ至當ト認メマシテ、道府縣ノ負擔スル費用ノ中カラ之ヲ除外スルコトニ致シタイノデアリマス、是ガ今回ノ改正法案ノ要旨デアリマスガ、詳細ノ事ハ又御質問ニ依テソレノ御答致シタイト思フノデアリマス

○田中委員 各國ノ癩豫防ニ關スル現狀ノ參考書類ヲ一ツ御配付ヲ願ヒタイデスガ

○加藤政府委員 出來ルダケ多クノ參考書ヲ差上ゲタイ積リデアリマスガ、各國ノ癩豫防ニ關スル……

○田中委員 イヤ現狀……

○加藤政府委員 是ハ御希望ニ副ヘマスカドウカ、出來ルダケ調査致シマス

○田中委員 サウ細カイ國マデ行カナクテモ宜シウゴザイマス、大キナ所ダ

ケデ宜シウゴザイマス

○加藤政府委員 間ニ合フダケ差上ゲマス

○田中委員 ソレカラ現在ノ五箇所ノ經費ト云フヤウナコトハ、之ニ載ッテ居リマセヌカラ、併セテ御願シテ置キマス

○鈴木委員 日本ノ現狀ニ於キマシテ、政府ハ癩病患者ニ對シテ、公衆衛生ノ上カラドウ云フヤウナ御扱ヲシテ居ラレマスガ、ソレニ關スル大要ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山田衛生局長 ソレデハ私ヨリ御答申上ゲマス、癩豫防ニ付キマシテハ、大體癩豫防法ガ本ニナッテ居リマスガ、二通りニ豫防上取扱ヲ區別シテ居リマス、一ツハ療養ノ途ノナイ患者、浮浪徘徊スルヤウナ患者、一ツハ療養ノ途ノアル患者、療養ノ途ノナイ方ノ患者ハ、聯合府縣デ公立療養所ヲ設ケマシテ、其公立療養所ヘ收容スル、ソレカラ療養ノ途ノアル方ハ、結局自宅デ療養スルノデアリマスガ、ソレニ付テハ傳染病防止ノ方法ヲ指示シテ、其實行ヲ警察官ガ監督スルト云フコトニ大體ナッテ居リマス、現在其第一ノ公立療養所ヘ收容シマス療養ノ途ノナイ患者ニ付キマシテハ、全國ヲ五區ニ分ケマシテ、各區ニ一ツ宛聯合府縣ノ療養所ガ置イ

テアリマス、ソレハ現ニ青森、東京、大阪、香川、熊本ト云フ府縣下ニ置カレテアリマス、此收容人員ガ現在デハ二千三百三十五人ト云フコトニナッテ居リマス、之ガ不足致シマスノデ、之ヲ擴張シマシテ、四千五百人マデ擴張スルト云フ計畫デ、現在其擴張ヲ實行シツ、アリマス、尙此外ニ私立癩療養所ガアリマスガ、是ハ篤志ノ慈善家ガ經營シテ居ルノデアリマシテ、熊本ノ待勞院トカ東京ノ慰廢園、ソレカラ草津ノ「ソ」嬢經營ノ聖「バルナバ」醫院、ソレカラ身延山、ソレカラ静岡縣下ニ一ツ、熊本ノ待勞院ノ外ニモウ一ツト云フ風ニナッテ居リマス、此收容人員ガ現在六百五十人バカリ居リマス、先程ノ公立ノ分ト合セマス、現在ノ收容能力ガ三千人ト云フコトニナッテ居リマス、之ニ浮浪徘徊ノ者ヲ收容シマスルト云フト、先程申シマスルヤウニ、マダ收容力ガ足りマセヌノデ、此擴張ノ途中ニアル次第デアリマス、尙其他ニ國立療養所ヲ一箇所造リマシテ、之ヲ一方カラ申シマスルト、模範的ノ療養所トシ、且癩豫防法ノ設ケラレタ上カラ申シマスルト、ドウシテモ癩病ニ對スル根本的ノ研究モ必要デアリマスカラ、兼ネテ研究モ出來ルダケハスル、ソレカラ他方デハ各療養所ノ平和ニ生

活スルコトヲ邪魔スルヤウナ人間ヲ一箇所ニ集メルト云フヤウナ目的デ、五百人ヲ收容スル爲ノ療養所ヲ建テタイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシタノガ、經費ノ都合デ四百人ト云フコトニナリマシテ、現ニ其工事中ニナツテ居リマス、是ハ本年度内ニ工事ガ出來テ、來年度カラ收容スルト云フコトニナル積リデアリマス、今回ノ法律案ハ此國立療養所ガ出來マスニ付テ必要ノ法律ノ改正ナノデアリマス、療養ノ途ノナイ分ニ付テハ、サウ云フコトニ致シテ居リマス、聯合府縣、ソレニ民間ノ篤志家ノ療養所、ソレカラ國立療養所ヲ置ク、ソレカラ療養ノ途ノアル方ハ、先程申シマスル通り、自宅療養スルト云フコトニ現在ナツテ居リマスガ、保健調査會ノ議決ニ依リマシテモ、矢張療養ノ途アル人ノ爲ニハ、自由療養地區ヲ立テナケレバナラス、自由療養地區ハ、先程來此處デ段々御話ニナリマシタヤウニ、資力ノアル者ハ家族モ連レテ其處ヘ行ツテ療養出來ルヤウナ自由療養地區ガ必要デアル、是ハ現在ノ程度トシマシテハ、内務省デハ其必要ヲ認メマシテ、經費ノ要求ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ金ノ方ノ都合デ實現ニ至ラナイト云フ、現在ノ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ療養ノ途ノアル者ニ付テハ、自宅療養ノ感染シナイヤウナ方法ヲ出來ルダケ講ジサセル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、割

合ニ此病氣ガ一方カラ言ツテ宜イノハ、人ニ會ハヌヤウニ、成タケ病氣ニ罹カルト家ニ隱レテ居ルト云フ點ガ宜イノデアリマスガ、他方又何處ノ人トモ分ラヌヤウニ巡禮ニ出掛ケルト云フヤウナノガ、病毒散漫ニハ困ルダラウト思フノデアリマス、ソレハ結局療養ノ途ノ無イ者トシテ、療養所ニ收容スルト云フコトニシナケレバナラス、ソレデ計畫通り行キマス、收容シ得ル人員ハ約五千人ニナリマス、ソレニ民間ノ篤志ノ施設ヲ加ヘマス、五千五六百人ニナリマスガ、固ヨリ是デ十分ト云フノデハナイノデアリマシテ、收容シ得ル者ハ一萬人位迄ハ殖ヤサナケレバナラヌト云フノガ、保健調査會ノ決議デアリマシテ、五千人ガ出來タナラバ、第二期計畫トシテ、今度ハ一萬人ヲ目當トシテノ擴張ガ必要デアラウト考ヘラレマス、現在ヤツテ居リマスコトハ、大體ソシナコトデアリマスガ、之ニ付キマシテハ、癩病ハ絕對隔離サヘスレバ撲滅シ得ル、斯ウ云フコトハ學者ガ一般ニ認メテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ悲惨ナ病氣デアリ、此病氣ニ罹ッタ者ハ本人バカリデナク、家族、親類、縁者、舉ゲテ不幸ニ陥ルト云フヤウナ病氣デアリマスカラ、隔離スレバ撲滅出來ルト云フコトガ分ツテ居ル以上、是非全隔離ト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ隔離スル場所、隔離ニ要スル經費ト云フヤウナ點デ、今申シタ

ヤウナ程度ノ事ダケヲ實行シテ居ル、全隔離ニハ手ガマダ及ビ兼テ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、固ヨリ全隔離ニ付キマシテモ、之ヲ實行シテ居リマスル比律賓ナドノ狀況デハ、隱蔽スルト云フコトデ、非常ニ困ツテ居ルヤウナ模様デアリマス、發見スレバ總テ隔離スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、隱蔽ガ中々多イノデ、金モアリ施設モアル所デモ、其點デハ餘程困ツテ居ルト云フヤウナ模様デアリマス、マアヤツテ居リマスコトヲ極クザツト申シマスト、サウ云フヤウナコトデアリマス

○鈴木委員 大分詳シイ御説明デ大體諒解致シマシタガ、尙進ンデ甚ダ素人ラシイ御尋デアリマスルケレドモ、一般素人ガ實際分ツテ居ラヌコトデアリマスカラ、御尋致スノデアリマスガ、只今迄ノ研究ノ現狀ニ於テ、癩病ト云フモノハ傳染性ノモノト認メテ居ルノデアリマセウカ、ソレトモ遺傳性ノモノト認メテ居ルノデアリマセウカ、即チ遺傳性デアルト云フコトハ、大體普通素人モサウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、傳染シナイモノデアリマセウカ、傳染スルモノデアリマセウカ、又傳染ヲ致スモノトスレバ、只今御説明モゴザイマシタ通り、全隔離ノ方法ヲ講ズルト云フコトガ、國民保健ノ上カラ公衆衛生ノ上カラ考ヘテ、當然ノ事デアラウト思フノデアリマス、若シ傳染ハシナイガ、遺傳ハスルト云フヤウナモノデアルトスレバ、更ニ進ンデ——是ハ人道ノ問題ニナルカモ知レマセヌケレドモ、遺傳シナイヤウナ根本的ノ方法、即チ去勢其他ノ方法デ、子孫ヲ生ムコトノナイヤウナ方法ヲ講ズルト云フコトモ、亦國家トシテ攻究スベキコトデナイカ、斯ウ云フ風ニ素人流ノ考デアルカ知レマセヌガ、思ツテ居ルノデアリマスガ、其點ニ對シテ政府ハドウ云フ風ニ思ツテ居リマスカ

○加藤政府委員 専門ノ技術ニ關スルコトデアリマスカラシテ、主任ノ者ヲシテ答辯サセマス

○高野内務技師 癩病ハ今ノ醫學ノ知識デ申シマス、傳染病ノ中ヘ這入ツテ居リマスガ、遺傳ハシナイト云フコトニ考ヘラレテ居ルノデアリマス、或ハ時ニ患者ノ體內ニ於テ育ツ胎兒ガ、多少病毒ヲ持ツテ生レルコトガアリマス、斯ウ云フ懸念ハ多少アリマスガ、是ハゴザイマシテモ、例外ト考ヘテ宜シイノデアリマス、癩病ノ血統ニ癩患者ガ多イト云フコトハ、是ハ生レタ後ニ周圍カラ感染スルモノデアルト、斯様ニ大體考ヘテ居リマス、但シ生レタ者ガ病人ノ兩親等ト一緒ニ居リマスレバ、甚ダ感染ノ機會ガ多イノデアリマス、是ハドウシテモ隔離ヲ致シマスルト共ニ、實際ニ於キマシテハ、只今御話ノヤウニ成ベク生ンデ欲シクナイ、斯ウ云フコトヲ希望シテ居リマス、實際ニ斷種術等ノ手術ガ、此種ノ豫防ノ爲ニ適

切ナ處置デアアルカドウカト云フコトハ
疑問デアリマスガ、成ベクハ生シデ貫
ハナイヤウニト考ヘテ居ルノデアリマ
ス

○鈴木委員 尙ソレニ關聯致シマシ
テ、傳染性ノモノデアルト致シマスレ
バ、是ハ事實問題ニナルノデアリマス
ガ、遺傳ノ徑路ハドウ云フ風ニナッテ居
ルノデアリマスガ、空氣傳染トカ色々
アルデアリマセウガ、私ハ専門ノ知識
ヲ持チマセヌカラ分リマセヌガ、ソレ
ナラバサウ云フ方面ノ知識ヲ、公衆衛
生ノ立場カラ、一般ニ普及サレル必要
ガアリハセヌカト思フノデアリマス
ガ、其邊ニ對シテドウ云フ風ナ從來處
置ヲ執ッテ居リマスガ、續ケテ御尋致シ
マス

○高野内務技師 何分癩病ト云フモノ
ハ、發病致シマスニ大變長イ歲月ヲ要
シマスルノデ、サウシテソロ／＼發病
致シマスノデ、ドノ道カラ這入ッタカト
云フコトガ、實ハ甚ダ正確ニ申上ゲ兼
ネルヤウニ存ジマス、ト申シマスルノ
ハ、癩病ノ微菌ノ動物試驗ガ出來マセ
ヌ、ノミナラズ是ハ人間特有ノ病氣デ
アリマスノデ、ドウシテモソレガ發病
シタ事實ヲ考察スル外ハゴザイマセヌ、
デアリマスルガ、大體他ノ疾病カラ推
シテ考ヘマシテ、此微菌ガ或ハ鼻ノ粘
膜カラ——呼吸器ノ粘膜カラ這入ルコ
トモアリマセウシ、或ハ皮膚カラ侵入
スルコトモアラウ、大體斯様ニ思ッテ居

ルノデアリマス、鼻ノ粘膜ヲ檢查致シ
マシテ、比較的早期ニ癩病ノ微菌ガ見
エルコトガアリマス、或ハ此處ガ入口
カトモ想像致スノデアリマスガ、態々
微菌ヲ鼻ニ入レテ實驗スルコトモ出
來マセヌカラ、大方サウ云フ道カラ這
入ルト思ッテ居ル次第デアリマス、隨ヒ
マシテ此病氣ノ豫防ニハ、病毒ヲ持ッ
テ居ル者ヲ世ノ中カラ隔離致シマシテ、
サウシテ、其病毒デ汚シタ物ハ成ベク
消毒ヲ致シマス、丁度普通ノ急性傳染
病ニ似タ方法ヲ執レバ宜シイノデアリ
マス、サウ云フヤウナコトデ是迄ノ隔
離ニ付テモ、消毒ニ付テモ努メテ居ル
ノデアリマス

○鈴木委員 只今迄ノ醫學上ノ研究ノ
結果トシテ、癩病ニ對シテ根治方法ガ
發見セラレテ居ルノデアリマスガ、或
ハ根治方法トマデハ行カナイデモ、大
凡斯ウ云フ風ニスレバ、斯ウ云フ點迄
ハ治スコトガ出來ルトカ或ハ他ニ傳染
性ヲ帶ビナイ程度マデ治ス途ガ分ッテ
居ルト云フヤウナ風ノ、醫術上ノ研究
ガ進ンデ居ルノデアリマスガ、研究ノ
現狀竝將來ニ付テ拜聽シタイと思フノ
デアリマス

○高野内務技師 尙先程御答ラシ落シ
マシタガ、癩病ガ傳染デアルト云フコ
トヲ公衆ニ宣傳スル、是ハ洵ニ必要
ナ事ト存ジマス、サウシテ尙是モ出來
得ル限リ努メテ居ル次第デアリマス、
現在ノ治療ノ研究ニ付キマシテハ、矢

張此疾病ノ研究ガ動物實驗ガ出來マセ
ヌ、微菌ノ培養ガ出來マセヌ等、洵ニ不
自由ナ且ツ困難ナ事情デアリマスノ
デ、未ダ十分ナ研究ガ出來ヌノデアリ
マス、根治療法等ハ全ク今ノ所デハゴ
ザイマセヌ、唯相當ノ效果ガアル——
病氣ヲ根治致シマセヌデモ、症狀ヲ良
クスルト云フ程度ノ藥ガ多少アルノデ
アリマスガ、就中大楓子油ト云フノガ
使ハレテ居リマス、是ハ古來東方ノ醫
藥ノ中ニアリマスモノデ、印度等カラ
產スルノデアリマスガ、木ノ實デアリ
マス、此木ノ實ヲ搾ッタ油ガ癩病ニ特效
ガアルト云フノデ、日本デモ使用致シ
マスシ、近來デハ此藥品ガ布哇トカ或
ハ其他南米等マデ傳ハハリマシテ、先ヅ
癩病ノ有效ナル藥トシテハ、是ノ注射ヲ
シテ居リマスルガ、何分症狀ヲ多少輕快
スルト云フダケデアリマシテ、マダマダ
甚ダ遺憾ノ點ガ多イノデゴザイマス

○鈴木委員 サウ致シマスレバ公衆衛
生ノ立場カラ見マスルト云フト、結局
癩病患者ハ隔離シテ他ノ多數ノ國民ノ
健康ヲ保護スル方法ヲ講ズル以外ニ、適
切ナ方法ハ無イヤウニ思ハレルノデア
リマスガ、私ハ其處ヘ參ッタコトハアリ
マセヌケレド、モ布哇ノ「モロカイ」島
ノ様子等モ、布哇通過ノ度毎ニ大分理
想的ニ出來テ居ルヤウナ話ヲ聞イテ居
ルノデアリマス、日本トシテモ何カサ
ウ云フ島ニヤッタ宜イトカ、何處ヘヤ
ツタラ宜イトカ云フコトハ、問題デア

リマセウケレドモ、隔離方法等ニ付テ
何カ御計畫ガアルデアリマセウカ、一
部病院等ノ建設ノ事ハ伺ッテ居リマス
ガ、病院ノ建設ト云フコトダケデナ
シニ、隔離スル以外ニ他ニ適切ナ方法
ヲ今日認メラレヌトスレバ、隔離スル
コトナドニ付テ將來何カ御計畫ヲ御持
チデアリマセウカ、必シモ當年出テ居
ル豫算ニ關係スルコトノミナラズ、國
家的ノ立場カラ考ヘテ、非常ニ大事ナ
コトデアルト思フノデアリマスガ、此
點ヲ何カ御計畫ガアリトスレバ、此機
會ニ於テ伺ヒタイ

○山田衛生局長 此癩療養所ハ一方病
院デアリマスガ、是ハ矢張隔離ノ設備
等ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、聯合府
縣ノ療養所モ、國立療養所モ、隔離ノ目
的デ外部ト交通ヲシナイヤウナ風ニ出
來テ居リマス、殊ニ香川縣ニ在リマス
ルノハ島ニ立テ、アル、又今回ノ國立
癩療養所ハ岡山縣下デアリマスガ、是
モ矢張島ニ立テルコトニナッテ居リマ
ス、其外ニ療養ノ必要アルモノモ、隔離
スル一方デナク、隔離ノ目的ヲ達スル爲
ニ必要ノアルモノモ、從來ハ財政ノ都
合デ其運ビニ至ッテ居ラヌト云フコト
モ先程申上ゲタ通りデアリマス、ソレ
ハ結局數ヲ多クシテ、總テヲ容レルコ
トガ出來ルヤウニナレバ、全隔離ノ目
的ヲ達セラレル譯デアリマス、ソレヲ
希望シ、ソレヲ目當ニヤッテ居ル次第
デアリマス、島デ適當ナ所ガアレバ、大變

結構デアルト云フコトデ、保健調査會ガ開カレマシタ時ニモ、實ハ全國ニ互ッテ三萬人位、假ニ直ニ實行セラレヌトシテモ、全隔離ヲスルト云フコトノ機運ガ出來タ場合ニハ、此處ニ持ッテ行ッタル宜カラウト云フ場所ヲ探シ廻ッタルコトガアルノデアリマスガ、其時ニハ此場所ナラバ全體ノ患者ヲ一箇所ニ收容出來ルト云フヤウナ島ハ、マダ見付カラヌデシマッタノデアリマス、併シ必シモ一箇所デナクトモ宜カラウカト思ヒマス、此病院ト申シマスノハ、矢張隔離ノ目的ガ大部分ヲ占メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○鈴木委員 公立病院等ニ於テノ患者ニ對スル處置ヲ、ドウ云フ風ニヤッテ居ラレマスガ、ト申シマスノハ、癩病患者デモ初期ノ者ナドハ、矢張相當働クカモ持ッテ居ルノデハナイカト思ハレマスシ、又或ル程度マデ、唯收容シテ隔離シテ居ルト云フコトノミナラズ、本人ノ生産力ヲ利用スルト云フコトモ、即チ本人ニ働カスト云フコトハ、本人ノ爲ニモナレバ、又ソレデ經費ヲ得ルヤウナコトニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、患者ヲ收容シテ居ル狀態ハ、唯隔離シテ手當ラシテ居ル程度デアリマセウカ、ソレトモ何カサウ云フ風ナ方法ヲ御考デアリマセウカ、實際分ラヌモノデスカラ、御伺スルモノデアリマス

○山田衛生局長 其點ニ付キマシテ

ハ、今療養所デハ蔬菜トカ或ハ草花等ヲ栽培ニ働ケル者ニハ、働カシテヤラシテ居ルト云フコトニナッテ居リマス、併シ勞働能力ト云フモノハ、極メテ少ナイノデアアッテ、ホンノ一部ノ助ケニナルダケデアリマシテ、地面サヘ擴ゲレバ其中ノ者ノ働キデヤッテ行ケルト云フ程度ノモノハ、ホンノ僅カデアリマス、斯ウ云フヤウナ話デアリマス、極ク勞働能力ハ少ナイノデアリマスガ、併シ出來ルダケハ蔬菜ナドニ働カシテ居

○鈴木委員 此患者ノ表ヲ見マスト云フト、大正十四年ト大正八年トヲ比較シマスト、少ナクナッテ來テ居ルヤウニ思フノデスガ、一體殖エル傾向ニアリマセウカ、減ル傾向ニアリマセウカ、是ダケデハマダ不十分ノヤウニ思フノデスガ、其他ノ統計ノ上カラ言ウテ、其傾向ガ分リマスレバ御知ラセテ願ヒタイ

○加藤政府委員 癩患者ノ數ニ付テノ御尋デアアルガ、ソレハ調査ノ方法ニ依テ、實際ノ患者數ハ餘程異ナラウカト思ハレマス、從來ノ方法ト致シマシテハ、先ヅ警察署ガ調査致シテ居ルノデアリマシテ、此點ニ於キマシテ、病氣ノ性質カラ致シマシテ、隱蔽スル傾向ガアッテ、外部カラ認メラレルヤウナ病狀ニナラナケレバ分ラヌト云フコトハ、人情トシテ免カレナイ所ダラウト思フノデアリマス、デスカラ警察ノ調査ガ不十分デアルト言ヘバ、論ハソレニ盡

キルノデアリマシテ、ソレ以上ノ方法ヲ更ニ案出シテ計畫シナケレバナラヌガ、大正八年度ト大正十四年度トヲ比較シマスト、少シク減ッテ居ルノデアリマス、大正八年ガ一萬六千二百六十一人、大正十四年ガ約一萬五千人ト云フコトニナリマス、少シ減ッテ居ルノデアリマス、矢張豫防ノ效果ト言ヒマスルカ、其效果ガ幾ラカ現ハレテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、私共モ聞イテ居ルノデアリマス、但シ是モ左様ナ調査デハ不十分デアルト云フ意見モ中アルノデアリマシテ、當局ト致シマシテハ、成ベク他ノ方法ヲ以テ徹底的ニ豫防ノ方法ヲ講ジテ見タイト考ヘテ居ルノデアリマス、又總數カラ申シマシテモ、色々徴兵検査當時ノ統計ヲ基礎ト致シテ見マスルト、ドウモ概數ガ今ノ約二倍弱位アリハスマイカ、保健衛生調査會アタリノ推定カラ申シマスト、三萬七百三十三人ト云フ統計モ舉ッテ居ルノデアリマス、是モ今申上ゲマシタヤウナ基礎ノ下ニ推論サレタ數字デアリマスカラ、ドウゾ其御含ミデ願ヒタウゴザイマス

○鈴木委員 尙之ニ關聯シテ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、單リ癩病患者ノミナラズ、或ハ肺結核デアルトカ、其他色々ナル遺傳性、傳染性ヲ有スル患者ノ數ハ、甚ダ多イヤウニ思ハレルノデアリマスガ、私ハ國民保健全體ノ立

場カラ、又國民ノ健康ヲ増進スルト云フ大目的ノ立場カラ考ヘマシテ、國民全體ニ互ッテ保健調査ト申シマスガ、健康狀態ヲ調査スルト云フ御計畫ハナイノデアリマセウカ「センサス」ヲヤルヤウニ、健康ノ問題ノミヲ調査サレコトモ有意義デアリマセウシ、或ハ調査ノ上ニ色々ノ困難ナ事情ガアルカモ知レマセヌガ、國民ノ國勢調査ヲヤルコトガアルノデアリマスカラ、非常ナ金ノ掛ルコトデアリマセウケレドモ、國民全體ノ健康ノ狀態ヲ、何年カニ一遍位ヅツ調査スルコトノ必要ガ少ナカラズアルカノヤウニ思ハレマスルガ、今迄アリマスルモノハソレノ一部分的ノ調査ハ出來テ居ルヤウデアリマスケレドモ國民全般ニ互ッテ、何々ノ病氣ガ患者何名アルト云フコトガ、ドウモ分ッテ居ラナイヤウニ思フノデス、分ッテ居レバ結構デアルケレドモ、分ッテ居ラヌヤウニ思ハレマス、若シ分ッテ居リマシテモ、今後五年ニ一遍、十年ニ一遍トカ云フ風ニ調査シテ見ルト云フコトガ、日本ノ民族即チ種族ト云フモノヲ永久ニ保存スルト云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、亦其他産業上ノ能率或ハ能力ノ發達ト云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、餘程意義ノ有ルコトデハナイカト思フノデアリマスガ、其邊ニ對シテ何カ御計畫ガアルノデアリマセウカ、將來ノコトニ付テ御伺致シタイ

○加藤政府委員 保健衛生ノ施設計畫

ガ國家ノ政ノ中ニ於テ最モ緊要デア
ト云フコトハ、鈴木サンカラ承リマシ
テ、洵ニ私共同感ノ次第デアリマス、但
シ今御説ニアリマシタヤウニ、單リ癩
ニ限ラズ、總テノ傳染病ニ對シマシテ
基礎的調査、所謂根本調査ヲ爲ス必要
ハ勿論アルノデアリマス、例ヘバ國勢
調査ノ方法ニ依ルガ如キ手段ニ依テ、
アラウトハ思フノデアリマスケレド
モ、何分ニモ多クノ經費ヲ要シマシテ、
サウシテ其關係モ中々廣イノデアリマ
ス、色々ノ調査考究ノ結果デナイト云
フト、具體的ニ斯様ナ考ヲ持ッテ居ル
云フコトヲ申上ゲ兼ネマスケレドモ、
貴方ノ言ハレマシタヤウニ産業ノ方
面、殊ニ能率ノ増進トカ、或ハ國民ノ保
健衛生ノ上ニ重キヲ置クト云フ點ニ於
キマシテハ、全ク同感デアリマシテ、篤
ト考慮致シマシテ、成ベク豫算ノ許ス
限リ御希望ニ副フヤウニ致シタイト考
ヘテ居リマス

○鈴木委員 其點諒承致シマシタカ
ラ、私ハモウ御尋スル事ハゴザイマセ
ヌ、唯只今御答辯下サイマシタ事デ、御
精神ノアル所ハ能ク了解致シマシタ
ガ、是ハ非常ニ大事ナ事デアルノデア
リマシテ、此根本基調ニナルベキ所ノ
保健狀態ガハッキリシテ居リマセヌケ
レバ、萬般ノ衛生政策ト云フモノハ、殆
ド空ヲ擲ムガ如キモノニナルト思フノ
デアリマス、是ハ費用モ掛カルデアリ
マセウケレドモ、費用ノ掛カルコトヨ

リモ、其事ガ私ハ大事ナ事デアルト思
フノデアリマス、衛生上其他色々ノ事
ニ付テモ、其根本ノ調査ガ出來テ居リ
マセヌケレバ、私ハ的確ナ方策ガ立タ
ナイト思フ、故ニ私ハ是非此問題ニ付
テハ政府ニ於テモ十分御考慮下サレマ
シテ、近キ將來ニ於テ具體策ヲ講ジテ
戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キタ
イト思フノデアリマス

○加藤政府委員 重ネテノ御意見、洵
ニ私共同感ノ至リデアリマスルガ、御
説ノ中ニ各傳染病其他基礎的調査ニ付
キマシテハ、見様ニ依テハ不完全デア
ルト云フ御意見モアラレマセウケレド
モ、當局ト致シマシテハ、現在ノ施設計
畫ニ依リマシテ、ソレノ基礎的調
査ハアルノデアリマシテ、全然無イト
云フ意味デハナイノデアリマス、是ヨ
リモ更ニ良好ナル結果ヲ得タイト云フ
コトニ付テハ、考慮ヲ致シテ居リマス
ケレドモ、決シテ等閑ニ打捨テ置イタ
譯デハナイコトヲドウゾ御諒承ヲ願ヒ
マス

○田中委員 現在ノ此療養所ニ收容シ
テ居ル中デ、先程ノ御話ノヤウナ避妊
術ヲヤッタ者ハ、凡ソドノ位出來テ居リ
マスカ

○山田衛生局長 數字ハ聞イテ居リマ
セヌガ、是ハ年々療養所長ノ會議ガア
リマスカラ、其席上デノ話ヲ聽イテ居
リマス、可ナリ多數ニヤッテ居リマシ
テ、這入ッテ居ル男子ニ付テハ、サウ云

フ能力ノアル者ハ殆ド希望ニ依テシテ
居ル、希望ト云フヨリハ、勧誘シテ申出
ヲサシテ、手術シテヤッテ居ルト云フコ
トニナッテ居ルノデアリマス、稀ニスル
ノデハナクシテ、寧ロ原則トシテ居ル、
斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○田中委員 先程鈴木君ノ御尋ニナッ
タヤウナ事ヲ、私モ御尋シテ見ヤウト
思ッテ居ッタノデアリマスガ、傳染ト遺
傳ト云フコトガ、此豫防ノ根本方針ヲ
決メル根本デアリマス、ソレデ私共醫
者デアッテ、傳染スルト云フコトハ無論
知ッテ居リマスガ、矢張是ハ遺傳スルモ
ノナリト云フコトモ、今日迄ノ學說デ
全然否定スルコトガ出來ヌモノト、斯
ウ承知シテ居ッタノデアリマス、若シ今
ノ政府委員ノ御説ノヤウニ、全然是ハ
隔離スレバ根絶スルモノナリト云フコ
トデアラナラバ、是ハモウ申ス迄モナ
ク遺傳デナクシテ傳染デアアル、斯ウ云
フコトニナリマス、サウスルト全然遺
傳ト云フコトヲ考ヘズニ傳染デアルト
言ヘバ、茲ニ自由療養所ヲ造ルト云フ
コトハ、非常ニ私ハ矛盾ガ出來ハシナ
イカト思フ、遺傳ト云フコトヲ加味サ
レタ場合ニ、初メテ自由療養所ヲ造ル
トカ、或ハ資力ノアル者ハ各々其家庭
デ療養サスト云フコトモ、一ツノ方法
デアリマスルガ唯傳染ノミト云フコト
ニ限定サレルト、只今言フヤウニ家族
ヲ連レテ行ッテ自由療養所トカ、或ハ自
宅ニ於テ之ヲ療養サスト云フコトハ、

全然其根本ニ矛盾ガ起ルノデアリマ
ス、今一ツ山田君ノ御説ノ如ク、若シ之
ガ遺傳ト云フコトヲ考ヘヌノデアアルナ
ラバ、只今ノ御説ノヤウナ避妊ノ手術
ト云フコトハ、全然意義ヲ爲サヌコトニ
ナリハセヌカ、成程先程政府委員ノ御
説ノ如ク、其家族ノ者ガ接觸スル機會
ガ多イカラ、隨テ其患者ガ餘計出來ル
ノダト云フ、此御説カラ言ヒマスケレバ、
或ハ此避妊ノ手術ト云フコトモ幾分ノ
必要ガアル、全然是ガ傳染病ノミト確
定サレルト、此手術ヲヤルコトニ非常
ナ矛盾ガ出來、サウシテ一面自由療養
所、自宅療養ト云フコトニ、非常ニ私ハ
茲ニ矛盾ガアルヤウニ思フノデスガ、
近頃醫學ハ殆ド日進月歩時々刻々ニ進
ンデ居ル、殊ニ細菌ノ方面ハ、私共ノ習
ツタ十幾年前トハ、餘程趣ヲ異ニシテ
居ルノデアリマス、今日デハモウ遺傳
ト云フコトハ殆ド認メラレテ居ラヌコ
トニナッテ居ルノカ、重ネテ私御尋シテ
見タイト思ヒマス

○高野内務技師 先程申上ゲマシタ通
リ、實驗ノ困難ナ傳染病デゴザイマス
カラ、遺傳ガ絕對ニ無イカト斯ウ御尋
ヲ受ケマスルト、私共絕對ニサウ云フ
事ハ無イトハ申上ゲ兼ネルト存ジマ
ス、唯癩患者ガ生ミマシタ子ヲ即刻隔
離致シマシテ、之ヲ育テマスルト、殆ド
癩病ヲ發病致シマセヌ、尤モ是ハ數ガ
少ナイコトデモアリマスルシ、或ハ癩
病患者ト一緒ニ居リマシテモ、發病ス

ル者ガ出來ルヤウナ譯デアリマスカ
ラ、斯ノ如キ比較研究ハ、中々隙間ノナ
イ嚴重ナ學術的意義ヲ付ケルニハ、隨
分困難デアリマスガ、先ヅ大體論ト致
シマシテ、御案内ノ通りニ結核菌ニ類
似ノ微菌デアリマスカラ、若シ結核菌
ニ於テ遺傳ガ成立ツトスレバ、其程度
ノ遺傳ノ關係モ或ハ考慮シナケレバナ
ラヌカトモ存ジマス、原則ト致シマシ
テハ、先ヅ結核菌ガ胎盤ヲ通過シテ胎
兒ニ行クコトハ餘程例外ト考ヘラレマ
スヤウニ、癩菌デモ左様デアラウカト
存ジマス、此程度デゴザイマス

○田中委員 只今ノヤウニ假ニ結核ノ
遺傳ト云フコトヲ想像スル場合ニハ、
多クハ是ハ體質ノ問題デ、微菌自體ヲ
考ヘヌデモ、遺傳デナク感染シ易イ體
質ヲ遺傳スルト、斯ウ云フ事ハ直グ私
共ハ考得ラレルコトデアリマスガ、癩
病ノ方ハ發病シテモ可ナリ健康ノ形デ
居ル、初期デハ殆ト健康體ト變ラヌ、ソ
レデ體質自體ノ罹リ易イ體質ヲ遺傳ス
ルト云フコトハ、ドウモ私共考ヘラレ
ナイヤウニ思フノデス、單ニ是ガ傳染
ノ經路ハ御説ノ通り明デナイガ、多ク
私共考ヘレバ、無論接觸傳染デアルト
思フノデアリマス、今日迄ノ實際ノ狀
態カラ考ヘルト、假ニ一人ノ癩患者ガ出
來ルト、其親カ祖父カ、其家族ニハ大抵
癩病ノ患者ガアッタコトヲ證明サル、
コトガ「プロセント」デ行ケバ確ニ多イ
ノデアリマス、サウスルト假ニ二代モ三

代モヤッテ居ッタト云フコトデアレバ、是
ハ接觸傳染ト云フコトヲ直接ニ考ヘル
コトハ出來ヌノデアリマス、是ハ學說以
外ニ實際問題トシテ、矢張今日社會カラ
嫌ハレテ居ルノハ是ナノデス、斯ウ云
フコトカラ考ヘルト、矢張遺傳ト云フ
コトニモ餘程重キヲ置カナクテハナラ
ヌモノト私共實ハ自分デ考ヘテ居ル、
サウスレバ此避妊ノコトガ非常ナ有力
ナル豫防法ニナツテ來ヤウト思フ、ソレデ
アルナラバ私ハ根本方針トシテ此避妊
ノ手術ヲ受ケルダケナラ患者ハ大シタ
苦痛ハナイト思フ、自宅療養ヲ許ス者、
竝自由療養所ハ無論ノコト、廣ク此手
術ヲ行フト云フコトニ付テハ是ハ大シ
タ苦痛モナク、行ヒ得ラレル、サウシテ
一ツノ目的ヲ達シ得ラレルモノデア
ルト考ヘル、是ハ此度ノ癩病豫防ニ付テ非
常ナ重大ナル意義ガアル問題デアルト
思フ、此意味ニ於テ現在此避妊ノ手術
ヲ原則トシテヤッテ居ルト云フコトノ
根本趣意ハ矢張多クハ遺傳ニ置イテ居
ルノデハナイカ、斯ウ私ハ自分デモ考
ヘル、是ハ私竊ロ良イコトデアルト思
フ、ソレナラバモウ少シ進ンデ收容シ
テ居ラナイ現在ノ澤山ノ患者ニ對シ
テ、此手術ヲ強制的ニヤルト云フコト
ニナルト、少シ問題ガ起ルカモ知レマ
セヌガ、是ハ本人ニ取ツテモ大シタ苦痛
モナイ、又方針サヘ決マレバ爲シ得ラ
レルコトデアルト思フ、斯ウ云フコト
ニ付テ何カ特殊ナ御考ハナイカ、現在

ヲ要シマセウガ、避妊ノ方法ヲ講ゼシ
ムルコトハ、實行スルコトガ宜カラウ
ト思フ、田中サンハオ醫者サンデ御承
知デモゴザイマセウガ別ニ性慾ノ中絶
ニハナラヌサウデアリマス、是ハ極メ
テ適當ナコトデアルト思ヒマスカラ、
當局ニ於キマシテモソレハ考慮致シ
タイト思ヒマス

○中崎委員 私ハ此患者ノ收容ニ付テ
醫師ノ届出ニ依ル患者ノ收容ノ數ト、ソ
レカラ警察官署其他ニ於テ發見ヲシテ
收容スルコト云フヤウナ場合ト、現在
ノ此患者ニ於ケル收容ノ數ハ何方ガ多
クナツテ居リマスカ、私達ガ知ツテ居ル
範圍ニ依ルト殆ト帝大ノ皮膚科ナドニ
於テハ届出タリ何カスル場合ハナイト
思フ、斯ウ云フコトハ實ハ自分ノ方ノ
非違ヲ暴露スルヤウナモノデアルケレ
ドモ、微々タル病院デハアルケレドモ、
私ノ所ノ皮膚科ナドニ時々サウ云フ患
者ガ來ルコトガアル、先ヅ病名ヲ記サ
ナイデ大學ニ送ツテシマウ、サウスルト
ドウヤラ大學邊リデハ何所デドウシテ
居ルカ到頭收容シタト云フヤウナコト
モ聞カナイ、ソレハ相當矢張惡クナツ
テ居ル患者ナドデ、矢張今申上ゲタヤウ
ナ風ナコトガ能クアルヤウデス、是ハ
衛生局邊リカラ大學邊リノ皮膚科ナド
ソレ相當ノ設備ノアル所ニ向ツテ何カ
御調デモ爲サツタコトガアリマスカ、斯
ウ云フヤウナ狀態デ行キマス、殆ト
此癩療養所ノ收容患者ノ大部分ハ警察

ノ方ハ發病シテモ可ナリ健康ノ形デ
居ル、初期デハ殆ト健康體ト變ラヌ、ソ
レデ體質自體ノ罹リ易イ體質ヲ遺傳ス
ルト云フコトハ、ドウモ私共考ヘラレ
ナイヤウニ思フノデス、單ニ是ガ傳染
ノ經路ハ御説ノ通り明デナイガ、多ク
私共考ヘレバ、無論接觸傳染デアルト
思フノデアリマス、今日迄ノ實際ノ狀
態カラ考ヘルト、假ニ一人ノ癩患者ガ出
來ルト、其親カ祖父カ、其家族ニハ大抵
癩病ノ患者ガアッタコトヲ證明サル、
コトガ「プロセント」デ行ケバ確ニ多イ
ノデアリマス、サウスルト假ニ二代モ三

代モヤッテ居ッタト云フコトデアレバ、是
ハ接觸傳染ト云フコトヲ直接ニ考ヘル
コトハ出來ヌノデアリマス、是ハ學說以
外ニ實際問題トシテ、矢張今日社會カラ
嫌ハレテ居ルノハ是ナノデス、斯ウ云
フコトカラ考ヘルト、矢張遺傳ト云フ
コトニモ餘程重キヲ置カナクテハナラ
ヌモノト私共實ハ自分デ考ヘテ居ル、
サウスレバ此避妊ノコトガ非常ナ有力
ナル豫防法ニナツテ來ヤウト思フ、ソレデ
アルナラバ私ハ根本方針トシテ此避妊
ノ手術ヲ受ケルダケナラ患者ハ大シタ
苦痛ハナイト思フ、自宅療養ヲ許ス者、
竝自由療養所ハ無論ノコト、廣ク此手
術ヲ行フト云フコトニ付テハ是ハ大シ
タ苦痛モナク、行ヒ得ラレル、サウシテ
一ツノ目的ヲ達シ得ラレルモノデア
ルト考ヘル、是ハ此度ノ癩病豫防ニ付テ非
常ナ重大ナル意義ガアル問題デアルト
思フ、此意味ニ於テ現在此避妊ノ手術
ヲ原則トシテヤッテ居ルト云フコトノ
根本趣意ハ矢張多クハ遺傳ニ置イテ居
ルノデハナイカ、斯ウ私ハ自分デモ考
ヘル、是ハ私竊ロ良イコトデアルト思
フ、ソレナラバモウ少シ進ンデ收容シ
テ居ラナイ現在ノ澤山ノ患者ニ對シ
テ、此手術ヲ強制的ニヤルト云フコト
ニナルト、少シ問題ガ起ルカモ知レマ
セヌガ、是ハ本人ニ取ツテモ大シタ苦痛
モナイ、又方針サヘ決マレバ爲シ得ラ
レルコトデアルト思フ、斯ウ云フコト
ニ付テ何カ特殊ナ御考ハナイカ、現在

原則トシテ避妊術ヲヤッテ居ルト云フ
コト、今自宅其他デ自由ニ療養サシ
テ居ル澤山ノ患者ニ對シテ之ヲ強制ト
迄行カヌデモ説キ聞カシテ、サウ云フ
方法ヲ講ジテヤルト云フ御考ガアル
カ、之ヲヤッテ見タラドウカト、私ハ自
分ノ醫者トシテノ立場カラ實ハサウ云
フコトモ考ヘルノデアリマス、併シ原
則トシテ是ガ若シ傳染病デアルト云フ
コトデアアルナラバ、是モ無益ナ事ノヤ
ウニモ考ヘラレルガ、豫防ノ根本方針
トシテ重大ナル意義ガアルコトダト思
ハレル、現在一面ニ於テハ避妊術ヲヤッ
テ居ル、一面ニ於テハ傳染病デアルト
云フノデ其豫防ノ爲ニ根本方針ヲ確立
シテ置クト云フコトハ、少シク茲ニ矛
盾ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、
此邊ニ付テ何トカ御考ハナイカ、重ネ
テ私ハ御尋シテ見タイト思フ

○加藤政府委員 癩ノ傳染ト遺傳ト事
ニ付キマシテハ、先程御説明ヲ申上ゲ
タ通りデアリマス、ソレハ私共素人デ
一向分リマセヌガ、避妊ノ御話デアリ
マシタガ、現在國立、聯合府縣立兩療養
所ニ於キマシテモ先程申シマシタ通
リ、本人ノ希望ト申シマスルカ、勧誘ト
申シマスルカ、左様ナ事ヲ行ヒツ、ア
ルノデアリマス、自宅療養ト申シマス
レバ、御説明申上ゲル迄モナク療養ノ
資力、療養ノ途ノアル患者デアリマス
ガ、是モ矢張左様ナ意味ニ於テ勸誘シ、
之ヲ強制ト云フコトハ餘程色々手續

署ニ依テ發見シタモノガ主ニ收容サレ
ルト云フコトニナル、此癩病豫防規則
カラ言ヒマス、醫者ニサウ云フ届出
ノ義務ヲ負ハシテアルケレドモ、比較
的效力ガ薄クナッテ居ル、斯ウ云フコト
モアリハセヌカト思ヒマスガ、如何デ
アリマスカ

○山田内務省衛生局長 現在ノ實際ハ
癩療養所ヘ收容致シマス者ハ、是ハ浮浪、
徘徊シテ居ル者ヲ警察官ガ發見シテ療
養所ヘ連レテ來ル、斯ウ云フ状態ニナッ

テ居リマス、恐ラクハ初メハ方々ノ御
醫者様ニ見テ貰ッテ廻ッテ居ル中ニ、段
段病氣ガ重ッテ、愈ドウ見テモ癩病ト云
フコトニナル、浮浪ト申シマスカ、詰リ

家ニ居ッテモ皆ガ迷惑スルト云フノデ、
家出ヲシテ方々ヲ廻ッテ居ル中ニ、警察
官ガ療養所ヘ連レテ行ク、斯ウ云フヤ

ウナ徑路ヲ取ッテ這入ッテ居ル者ガ多イ
ノデアリマス、初期デマダ癩病カドウ
カ能ク分ラヌト云フ時分ニ醫師ノ届出

デ收容スルト云フ例ハ實ハ殆ドナイヤ
ウナ状態デアリマス、現在ノ状態トシマ
シテハ、此浮浪徘徊シテ居ル患者ヲ收

容スルノニ、近頃段々收容力ガ出テ來
タノデハアリマスガ、ソレデモ尙足ラ
ヌト云フヤウナ譯デアリマシテ、初期

リ、更ニ進ンデ探スト云フコトニナリ
マス、御話ノ點ハ餘程必要ニナッテ來
ルト思ヒマス、現在ノ所ハ實ハ收容所
ガ少ナクアリマシテ浮浪シテ居ルノヲ

連レテ行クノニ場所ガ足ラヌト云フヤ
ウナコトデ、其收容力ノ方ヲ殖スコト
ニ汲々トシテ居ルヤウナ有様デアリマ

シテ、此届出ノ點ニ付テハ今日ノ所デ
ハマダ非常ナ不便ハ感ジテ居リマセヌ
ガ、實情ハ只今申シマシタヤウナコト

ニナッテ居リマス
○中崎委員 サウスルト一體ハ豫防ト
云フ性質カラ言フト、浮浪徘徊シテ居

ル者ガ傳染ノ機會ガ多イ、自宅ニ居ル
者ガ傳染ノ機會ガ少ナイト云フヤウナ
コトハ中々サウバカリハ行カナイコト

デ、寧ロ自宅ニ居ッテ始終家族ト接觸シ
テ居ルト云フコトガ、家族傳染ヲ起ス
ト云フヤウナ虞ガ非常ニ多イ、デアルカ

アルカ、又ドノ程度迄御進ミニナッテ居
ルカ、幸ヒ木檜君モオイデニナルカラ、
此際公開シテ戴ク方ガ宜イト思フ

○加藤政府委員 現在ノ府縣立聯合ノ
療養所ハ之ヲ將來國立療養所ニ移管ス
ルカドウカト云フ御尋デアッタト思ヒ

マスガ、色々政府ニ於キマシテモ經費
多端ノ際デアリ、是ハ將來ノ方針ト致
シマシテハ府縣立聯合療養所ハ此儘ニ

存置シテ置キマシテ、國立療養所ハ將
來擴張スル必要ガアレバ擴張スル、是
ハ今ノ所二者並行シテ行クベキガ策ノ

得タルモノデアラウト考ヘテ居リマス
ス、又自由療養地區ノ問題デアリマス
ガ、多年木檜君ハ之ヲ熱心ニ主張セラ

レテ居ルノデアリマス、殊ニ草津方面
ハ内務省ノ當局者ヨリモ精通サレ、事
情モ能ク私共拜承致シテ居リマス、此

國費デ、一人幾ラト云フ金額ヲ以テス
レバ直ニ療養ガ出來ルト云フヤウナ單
純ナル考ノミニ依リマセンデ、將來成

ベク經費ヲ少クシテ、又經費ヲ掛ケナ
イデモ出來ル方法ガアレバ、其事モ講
ジナケレバナラヌノデアリマシテ、旁

其處ニ思及ボシマス、自由療養地區
ノ設置ノ如キハ、寧ロ經費ノ點ニ於テ
若クハ收容人員ノ數ニ於テ、或ハ家族

ヲ收容スル上ニ於キマシテ、又患者ニ
慰安ヲ與ヘル上ニ於キマシテ、士ニ親シ
ンデ本當ニ此憐レナル同胞デアル患者

ヲ慰安シ、之ヲ療養セシムルト云フ爲
ニハ、自由療養地區ト云フコトヲ吾々
ハ飽迄モ實現致シタイト考慮シテ居ル

ノデアリマス、ドウゾ其點ハ御含ミヲ
願ヒマス
○中崎委員 今草津ノ自由療養所ノコ
トニ付テ御説明ガアリマシテ、感謝致

シマス、本年ノ豫算編成期ニ於テ御努

力下スツタガ、其甲斐ナク削除サレタ

ト云フ御話デアリマシタガ、尙來年度ノ

豫算ヲ編成スル際ニ於テモ、是等ノ實

現ヲ圖ルコトニ努力下サル御積リデア

リマス

○加藤政府委員 申ス迄モナク私共内

務省當局ト致シマシテハ極力努力シ

テ、是ガ實現ヲ期スベク熱望致シテ居

リマス

○田中委員 簡單ニ御尋致シマスガ、

今度ノ療養所ニ收容スル患者ト今迄ノ

云フ風ニ收容スルノデスカ、患者ハ五箇所ノ中デ餘ッテ入レヌヤツヲ連レテ行クト云フノデスカ、全國カラ收容シヤウト云フノデスカ、ドウ云フ方法ニナルノデスカ

○山田内務省衛生局長 具體的ノ詳シイ手續ニ付キマシテハ、マダ相談中ニナッテ居リマスガ、大體ノ方針トシマシテハ、各療養所カラ送ッテ來ル者ト、ソレカラ直接收容スル者ト、兩方ノ途ヲ開キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、各療養所カラ來ルダケデハ、恐ラク四百人ノ定員ニ滿タヌデアラウト思フ、矢張各府縣知事カラ自分ノ方ノ療養所ハ一杯ニナッテ居ルカラ收容シテ貰ヒタイト云フコトヲ請求シテ來レバ、直接デモ收容スルト云フ積リニシテ居リマス、先程申シマス通り、各療養所デ困ッテ居ルヤウナモノヲ收容シマスガ、ソレダケデハ療養所ノ空氣ガ惡クナルデアラウト思ヒマス、初ハ矢張療養所ノ氣風ヲ造ル爲ニ、サウ云フ者モ勿論一方デ收容モシマスガ、直接府縣知事カラ紹介ニ依テ一般ノ者モ收容スル、斯ウ云フ方針デ行キタイト云フコトニ、今大體話ヲシテ居ル次第デアリマス、マダキチントシテ居ル所ヲ決メテ居リマセヌ

○田中委員 マダ今ノ御説デハ收容ノ御方針ガ確定シテ居ラヌヤウデスカ、ドウカ此方針ヲ確定シテ置イテ貰ヒマセヌト、現在ノ療養所ハ御承知ノ通り

府縣ノ負擔ガ相當アルノデアリマス、ス

若シ直接收容ヲ多クサレト云フコトデアレバ、手續其他ノ簡單ナ方ヲ先ニドン／＼ト收容サレテシマウコト、ナリ、ソコニ府縣ノ間ニ幾分經費ノ不均衡ガ出來テ來ヤセヌカト思ヒマス、何レ單純ノ學理ダケデナク、研究ガ目的デアルト云フ御趣意ガアルノデアリマスカラ、各療養所ニ於テ變ッテ患者ヲ特ニ收容サレト云フヤウナコトモアラウト思ヒマス、ドウゾ斯ウ云フコトハ各府縣ニ十二分ニ此收容ノ方針ヲ知ラシメテヤッテ貰ヒタイ、多クハ何處ノ府縣デモ知ラヌヤウデスカ、私共縣會ニ出テ居ル時モ、ドウナッテ居ルカト云フコトハ、縣デモ餘リ能ク知ラヌノデアリマスカラ、斯ウ云フコトハドウゾ十二分ニ知ラセテ貰ヒタイト思ヒマス、是ハ私ノホンノ希望デアリマス

○加藤政府委員 今田中サンカラ御注意ノアリマシタ點デアリマスガ、特殊ノ患者デアリマスレバ、是ハ特殊扱デ議論ガナイノデアリマス、ソレ以外ノ本來ナラバ府縣立療養所ニ行クベキ者ヲ假ニ收容スルトシマス、御懸念ニナルノハ、國立療養所ガ岡山縣ニアルカラ、或ハ兵庫縣、或ハ香川縣ト云フヤウナ近イ所ノ患者バカリヲ容レテ、遠イ所カラハ容レナイト云フヤウナ御懸念カト思ヒマスガ、左様ナコトガナイヤウニ能ク注意シテ、成ベク御心配ニナリマシタ點ノナイヤウニ注意致シマ

○木檜委員 今田中君ニ對スル局長ノ答辯ハ違ッテ居ヤシマセヌカ、一體國立療養所ヲ拵ヘル時ノ目的ハ容レル人間ト云フモノハ資格ガ決ッテ居ルノデハアリマセヌカ、所謂五箇所ノ療養所ニ於テ療養サレテ居ル人間デ、素質ガ惡イ逃走癖ガアルトカ、或ハ騒動シテ隣室ノ者ヲ妨ゲテ仕方ガナイト云フ惡イ者ダケヲ捕ヘテ、國立療養所ヲ拵ヘテ之ニ容レル、唯當時ハ場所ヲ何處ニ拵ヘルカ分ラナイ、空中樓閣ノ計畫デアッタケレドモ、容レル人間ハ五箇所デ以テ持餘シタル人間、斯ウ云フコトニ決ッテ居タノデセウ、然ルニ今御説明ニ依ルト、府縣カラノ直接申出デモ容レルト云フコトニナルト、道府縣ノ癩癰養所トノ問題ニ付テ、經費ヤ何カデ紛更ヲ來ス、此問題ハ最初議會ニ審議セラ

格ト云フモノハ決ッテ居ッタ、今ノ局長ノ御答辯ハ曖昧ノヤウデスカ、其資格者ヲ嚴格ニ御聽申シテ置キマス

○加藤政府委員 私カラ申上ゲテハドウカト思ヒマスガ、私ノ先刻ノ田中サンニ御答辯申上ゲタノガ不足シテ居ッタノデアリマスガ、大體收容スル患者ニ付テノ最初ノ方針ハ、今木檜サンノ御話ノ通りダッタサウデスカ、但シ現在ノ狀況カラ致シマス、收容數ガ豫定數ニ達シナイ場合ニ、ソレヲ態空ケテ置クノモト云フ理由ノ下ニ聯合道府縣

立療養所ニ收容スベキ患者モ收容シテ置カウ、是ハ應急的ノモノデ、目的ハ依然トシテ木檜サンノ仰ッシャッタ通りニ變ッテ居ラヌコトヲ御承知願ヒマス

○木檜委員 是ハ私運ク參リマシテ能ク伺ヒマセヌデシタガ、此療養所ハ建築ガ一切落成ヲ致シテモウ入院サセテ居ルノデスカ、其狀態ヲ能ク承知致シマセヌノデ、ドナタカ御聽ニナッタカモ知レマセヌガ、其經過ヲ一寸御聽シタウゴザイマス

○山田内務省衛生局長 是ハ一昨年來三箇年繼續工事ニナッテ居リマス、今年度ガ最終ニナッテ居リマシテ、年度内ニ出來上ル見込デ目下工事中デアリマス、隨テ收容ハ來年度カラト云フコトニナッテ居リマス、初メニ敷地ノ選定、敷地ニ必要ナ土地ノ買収ナドデ多少暇ガ取レマシタガ、其土地ノ選定買収ハ全部終リマシタカラ、工事ハ着々此上ハ進行シテ此年度内ニハ竣工スル見込デアリマス

○木檜委員 尙一ツ伺ヒマスガ、此中ノ「其ノ同伴者、同居者ニ對スル一時救護費ニシテ被救護者又ハ其ノ扶養義務者ヨリ辨償ヲ得サルモノ」ト云フノデアリマスガ、此費用ノ程度ハドンナモノニナリマスガ、現在此扱ヒ方ハ府縣ノ療養所ニ於テ爲シテ居ルモノ、同伴者、同居者ニ對スル一時救護費ハ立替ノ出來ナイモノハ療養所デ今迄ハ損ヲシテ居ッタ、此方法ヲ今度國立療養所ニ適用

スルコトニナリマス、此一人當リノ費用ハドンナ程度ニ今迄支出シテ居リマス

○山田内務省衛生局長 今度規則ノ改正デ變テ參リマスノハ、療養所内ノ費用ハ聯合道府縣立療養所デ負擔シ、國立療養所ノ分ハ國立療養所デ負擔スル、斯ウ云フコトニナルダケデアリマシテ、同伴者同居者ノ一時救護ノ費用ハ從來通り變ラヌノデアリマス、負擔者ニ變更ハ起ラヌコトニナリマス、唯國立療養所ニ收容シタ者ニ要スル費用ヲ國デ持ツ、斯ウ云フコトヲ附加ヘヤウ、之ヲ解釋次第當然ニモ思ヘマスガ、ハッキリサセヤウト云フノデ、改正案ガ出タ譯デアリマス、現在ドノ位掛ッテ居ルカト云フ御尋ハ、收容患者一人ニ付テ、一年間ノ費用ガ先ヅ三百圓乃至三百五十圓位デ、三百圓ヲ切レルコトモ時ニハアリ、或ハ三百圓以上ニ及ンデ居ルノモアリマスガ、大體ハンナ程度ダト思ヒマス

○木檜委員 此國立療養所ハ五年度カラ開始スルノデスガ、其働方ハ此四十年ノ法律第十一號ニ國立癩癪養所ト云フ文字ヲ入レ、バ、ソレデ總テノ働ハ他ノ法律ナシニ運用ハ御差支ナイ譯デスカ

○山田内務省衛生局長 外ニハ改正ノ必要ハ法律ニ付テハナイ積リデアリマス

○木檜委員 ソコデーツ私ノ意見トシ

テ申上ゲタイノデスカ、國立療養所ニ容レル人間ハ最初限定シタヤウニ、各府縣ノ療養所於テ、所謂持餘シ者ヲ容レル、ソレハドウ云フ譯カト云ヘバ、他ノ固定者若クハ他ノ療養所ニ居ル者ニ惡イ感化ヲ與ヘル、斯ウ云フ意味合カラ救済ノ國立療養所ナルモノガ出來タ、サウスルト現在四百人ノ定員デアガ、人ガ足ラナイカラ普通ノ者デモ府縣ノ療養所カラ申込メバ容レルト云フコトハ、是ハ將來ニ取ッテ宜シクナイト思フ、斯ウ云フコトニナリマス、府縣ノ負擔療養ト云フモノガ限定シテアルノニ、府縣ノ療養所ニ容レルベキ者ヲ國立療養所ニ容レル、而シテ容レル性質ノ者ハ持餘シ者、所謂盜癖ガアルトカ、逃走癖ガアルト云フ者ヲ容レテ居ルノニ、其中ニ又普通純良ナル者ヲ容レルト云フコトガ、第一取扱ノ上ニ於テ二ツノ區別ヲシナケレバナラス、此點ガ宜シクナイノト、第二ニ國費デ以テアルノハ府縣療養所ニ於テ迷惑ノ者ヲ預ッテヤラウト云フ方針デアアルモ、各府縣ノ療養所ニ於テ、一般普通患者デアッテモ數ガ多イカラ已ムヲ得ズ容レテヤルト云フコトハ、是ハドウモ宜シクナイコトデアアルト思フ、是ハ若シ府縣ノ療養所ガ一杯デ入り切レナイト云フノナラバ、東京ノ療養所ガ一杯ナラバ、青森ニ入ルトカ、或ハ大阪ニ入レルト云フコトデアレバ聞エテハ居リマス、國家ノ療養所ニ特殊ノ

者ヲ入レヤウト云フ目的ガ既ニ出來テ居ルノデアリマス、之ヲ收容スル者ガ昭和五年度カラ四百人ノ定員ニナラヌカラト云フ意味デ、強ヒテ四百人ニ定員ヲ拵ヘタイ爲ニ、斯様ナ處置ヲスルト云フコトハ、將來ニハ宜シクナイト思フ、此點ハ最初之ヲ御計畫爲サッタ本旨ニ鑑ミテ絕對ニ入レヌヤウニシタ方ガ宜イデナイカト考ヘルノデアリマスガ、當局者ノ御意見ヲ伺ヒマス

○山田内務省衛生局長 當初ノ本旨ニモ、マダ其外ニ一項ガ當時ノ説明書ニモ確カ書イテアッタト思ヒマスガ、ソレハ無籍ノ者、ドノ府縣カ籍ノ分ラヌ者ト云フノモ這入ッテ居リマシタ、假ニ四國邊リニ行キマス、隨分順禮ガ居リマスガ、是ハ必ズシモ其土地ノ人トハ限ラナイノデアリマシテ、全國カラ隨分集ッテ參ッテ居リマス、又籍ノ分ラヌノガ寧ロ普通位ニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ聯合府縣デ金ヲ節約スル爲ニ國立療養所ニ押附ケヤウト云フコトデアアルナラバ、是ハ絕對ニ採ラヌ積リデアアルガ、國立療養所ガ空イテ居ル、府縣立ノ方ガドウシテモ一杯ニナッテ居ル、サウシテソレハ無籍ノ者デアルト云フヤウナ者ハ府縣カラ取ッテモ相當デハナイカト思ヒマス、唯先程申シマシタヤウニ、手續ニ付テ、マダ確定シテハ居リマセヌガ、無籍ノ人ヲ取ッテヤルダケデモ、是ハ四百人ノ定員デハ足ラヌ位ダラウト思ヒマス、マア收容所ハ無

理ニ出來ヌダラウト思ヒマスガ、唯御注意ノ點モアリ、府縣デ費用ヲ國ヘ押付ケルト云フヤウナコトニハナラヌヤウニ十分注意スル積リデ居リマス

○木檜委員 只今御答辯デスガ、是ハ最初拵ヘル時ニハ、私ハサウデナイト思ヒマス、一體此癩癪患者ト云フモノハ、常識カラ御承知デモアリマセウケレドモ、無籍者ガ多イノデアリマス、是ハ山田君ガ知ッテ居ラレナケレバナラス、癩癪患者ト云フモノハ決シテ藉ハナイ、アッテモナイコトニスル、隨テ無籍者ガ府縣ニ居ルトスレバ、其府縣ハ行路病者取扱ヲ以テ其町村、其縣ト云フモノガ其義務ヲ負フテ助ケタルノハ當リ前ノコトデアリマス、癩癪患者ト云フ者ハ何故無籍者カト云ヘバ、假ニ私ガ旅行ヲシテ癩ノ病ニ冒サレタトスル、藉ヲ語ルト云フコトハ、其親戚ニ對シテモ、彼ハ癩患者デアルト云フ爲ニ、一族ノ名譽ニ迄モ影響致シマスカラ、是ガ爲ニハ癩患者ト云フモノハ、一般ニ藉ヲ語ラスト云フコトハ、是ハ當然デアリマス、ソレ等ノコトハ山田君モ知ッテ居ラレナケレバナラス、無籍者ハ當リ前デアリマス、是ハ日本人ノ美點デアッテ缺點デアリマス、所謂家族制度、ソレデ癩癪患者ト云フモノハ何處ヘ參リマシテモ、正直ナ名前ハ決シテ語ラヌ、語レバ其者ノ親戚ニ迷惑ヲ與ヘル、顔ヲ汚シ、縁談ノ差支ニナル、是ハモウ傳統的ノ精神デス、斯ウ云フヤウナ關係デスカ

ラ無籍者ハ當リ前デアリマス、此國立療養所ヲ政府案トシテ出ス時ニハ、之ニ收容セントスル者ハ、ドウ云フ者ヲヤルカト云ヘバ、今申シマシタ所謂盜癖ノアル者トカ、逃走癖ガアルトカ、兎モ角モ取扱ニ他ノ者ニ惡イ感化ヲ與ヘテ宜シクナイト云フ者ヲ捉ヘテ收容ル、當時ハ私モ申シタ、ソレハ贅澤過ギル、ソナ贅澤ナコトヲセヌデモ相當ノ處置ヲシタラ宜イデヤナイカ、ソレヨリハモット路傍ニ癩ノ爲ニ苦シンデ居ル者ヲ容レタ方ガ宜シイ、ソナ者ハ内務省ニハ見エナイ、ソナ贅澤ナモノヲ拵ヘナクモ宜イデヤナイカト私共言ッタノデアリマス、是ハ當時ノ委員會ノ速記録ヲ見レバ分リマス、無籍者ヲ容レルト云フコトデハ限リガアリマセヌ府縣ノ療養所ハ成ベク負擔ヲ免レル爲トカ、無籍者ハ國立療養所ヘ容レルコトニナルト、國家ハ堪ラヌ、強ヒテ四百人ノ定員ヲ望マヌデモ私ハ宜イト思フ、サウ云フ惡イ者ヲ容レルガ爲ニ、詰リ當時場所ノ選定モ出來ナカッタノハソレデアリマセウ、惡イ病氣ノ人間ヲ置クノニハ場所ガ良クナケレバナラヌカラト云フノデソレガ爲ニ場所ガ定ラヌ、豫算ダケヲ拵ヘテ、所謂空中樓閣ニ終ッタノデアアル、ソナヤウナ譯デアッタノデスカラ、此點ハ最初ノ方針ガ大切ダト思フ、嚴格ノ方針デナサレマセヌト、若シ斯ウ云フヤウナコトデ幾ラデモ容レルナラバ、私共群馬縣ノ草津

ノ湯ノ澤ニ居リマスル癩患者ハ約五百名モ居リマス、其中ニハ最初ハ路銀ヲ持ッテ參リマシテ、サウシテ一年二年ト住ム中ニ、郷里カラ金ガ來ナイ、遂ニ郷里カラハ金ハ遣レヌカラ、其儘其處ノ土ニナッテ吳レト云フヤウナ悲惨ナル手紙ガ來テ、癩ノ病ニ苦シミナガラ、筋肉勞働ヲシテ迄モ居ル者ガ澤山ゴザイマス、若シ政府ガ斯ウ云フヤウナコトヲスルナラバ、私共斯ウ云フ所ニ居ル百人二百人ノ人間ヲ、此ノ癩療養所ニ送ツテ遣リマス、ソレデスカラ草津ノ湯ノ澤ニ居ル者ハ、社會ノ自治團體ノ厄介ニモナラズ、國家ノ御厄介ニモナレナイ、斯ク遠イ所ヲ厭ハナイデ、アノ山中ヘ來テ天與ノ靈泉ニ浴シテ治シタイケレドモ、長イ間ノ中ニハ郷里カラノ金ハ續カズ、到頭ソコデ土ニナッテシマウト云フヤウナ悲惨ナ狀態デスカラ、吾々ガ行ッテ見テモ彼等ヲ慰安スル場所ガナイノデ、各々ガ四國四十八箇所ニ擬ヘタ公園ノヤウナモノヲ、手ノ利カナイ病人ガ自發的ニ拵ヘテ、先ヅ天氣ノ好イ時ニハソコラヘ行ッテ遊ブト云フヤウナコトマデヤッテ慰安ヲシテ居ル、コンナヤウナ狀態ニナッテ居ル、是等ハ所謂當面ノ急務デアルケレドモ、社會的ニ認メラレテ斯ウ云フモノヲ助ケル者ガナイ、府縣デモ助ケテ居ラヌ、ケレドモ此處ニ來テ居ル英人ノ「リ」夫人ノ如キハ宣傳ガ上手ナノデ畏クモ御手許金ガ下ッテ居ル、府縣カラ

ハ年々補助費ガ下ッテ居ル、紀元節ノ紀念品トシテ近來年々宮中カラモ下ルト云フヤウナコトニナッテ救恤ヲ受ケテ居ル、是等ハ少數デアルケレドモ五百名モ居ル多數ノ者ハ同ジ 陛下ノ民デアッテモ 皇恩ニ浴スルコトガ出來ヌト云フノデ、心中デハ涙ヲ吞ンデ居ルヤウナ狀態デアアル、斯ウ云フヤウナコトハ内務當局ハ御知リナサラヌ、今療養所ヲ拵ヘテ無籍者ヲ容レルト云フコトニナッタラ大變ダ、若シ容レルナラバ此草津ノ山ノ中ヘ來テ苦シンデ居ル無籍者ヲ送ッテヤリマセウ、サウ云フヤウナ端ヲ開イタラ大變ナコトダト私ハ思フ、先ヅ國立療養所ヲ拵ヘル時ノ最初ニ戻ッテ、サウシテ何處迄モ五箇所ノ療養所ヘ容レテ置イテ、如何ニモ他ノ病人ニ對シテ惡イ感化ヲ與ヘテ困ル、持餘シ者ヲ容レルト云フノデアアルカラ、此方針ニ限定シタ方ガ宜カラウト思フ、是ハ一ツノ御相談デアリマス、斯ウ願ハヌト將來困ル、今山田局長ノ言ハル、ヤウナ、無籍者ヲ容レルト云フナラバ私共送ッテ遣リマス、此點ハ先ヅ先ヅ五箇所ノ府縣ノ療養所ノ持餘シ者、之ニ限ラナクテハ私ハイケナイト思フ、此點ニ付テ一ツ當局ノ御考ヲ伺ッテ置キタイ、マダ實行シナイノダカラ頗ル大切ナ問題デアリマス

○山田内務省衛生局長 只今ノハ御相談デアルト云フ話デアリマスカラ、御希望トシテ承ッテ置イテ、能ク相談致スコトニ致シマス、今ノ無籍者ナラ皆容レルト、斯ウ云フ風ニ先程申上ゲタノデハアリマセヌカラ、其點ハ誤解ノナイヤウニ御願致シマス、無籍者ノ中カラ容レル者ヲ選ブコトニスル積リデアリマス、無籍者全部容レルト云フコトニナルト逆モ及ビマセヌ、又府縣カラ自分ノ方ノ經費ヲ國ヘ押付ケルト云フヤウナ形デハ、是ハ定員ニ付キマシテモ、命令デ定員ガ定ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ當テニ押付ケルト云フヤウナコトガアルナラバ、絕對ニソレニハ應ジナイ積リデアアル、唯無籍者ノ中カラ取ルコトガ出來ルダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレハ各地ニ在ル聯合府縣立ノ療養所ノ中ニ居ッテ相當質ノ惡イ者、殊ニ罪人ト云フ譯デハアリマセヌノデアリマスカラ、是ハ矢張旨ク導ケバ良クナリ得ルコト、思ッテ居リマス、ソレニハ矢張療養所ノ空氣ガ餘程必要デアラウト思フノデアリマス、今ノ御話ノヤウニ絕對ニ惡イ者、持テ餘シ者ノ外ハ入レナイト云フヤウナコトハ、先程田中委員ノ御質問ニ御答シタ通りデ、出來ヌト思ヒマスガ、只今御話ノ點ハ能ク承リ、御話ニナッタコトヲ御希望トシテ承ッテ置イテ、能ク參考シテ決メル、斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス、ソレカラ尙草津ノ問題ニ付キマシテハ、加藤參事官ノ答辯セラレマシタ通り、吾々ハ之ヲ非常ニ必要ト思ッテ居ルノデアリマシテ、實現ヲ期シタイト云

フ希望ヲ痛切ニ持ッテ居ルノデアリマ
ス

○本檜委員 今草津ノ話が出マシタカ
ラ一寸伺ヒ且申上ゲマス、實ハ私ハ内
務省ガ見ルヨリハ、癩患者ト云フモノ
ハ非常ニ多イ、私ハ癩患者ト云フモノ
ハ、是程世間ニ憫レナル者ハナク、同情
スベキ者ハナイト思ッテ居リマス、ソレ
デ私ハ此點ヲ特ニ痛感シテ、癩療養所
ヤ又癩ノ問題ニ付テ全國的ニ研究シテ
見テ居ルノデス、先程田中君ノ仰ッシャ
ルヤウニ、私共素人ガ見ルト、癩ハ私ハ
系統的カラ來ルト思ッテ居リマス、併シ
此頃ノ御醫者サンニ聞クト、傳染病ダ
ト斯ウ申シマス、私ハ青森ノ癩療養所
ヲ訪ネタ時ニ、所長サンハ近ク外國ヘ
行ッテ歸ッタ許リ、マダ外國ノ臭ノホヤ
ホヤノ時ニ御目ニ掛ッタ、其時所長サン
ノ言フノニハ、癩ハ必ズ系統的ノモノ
デナイ、斯ウ云フ話デスカラ、私ガ申上
ゲタノデス、私ハ此實社會ヲ見テ、ドウ
モ系統的ニ出來ルノガ多イト思フ、系
統的デナイト思フナラバ、所長サンニ
若シ息子サンガアルナラバ、私ノ知ッ
所ニ癩ノ系統デアルガ、良イ娘サンガ
アル、而モ洵ニ無病息災デアルカラ、其
娘サンヲ貰フ確信ガアルカドウカ、系
統的デナケレバ御心配ハナイト思フガ
ト言ッタ所ガ、ソレダケノ確信ハ持タヌ
ト云フ結論ニ相成ッタノデアリマス、私
等素人カラ見ルトドウモ系統的ガ多イ
ヤウデアアル、草津アタリマデ行ッテ調ベ

テ御覽ナサイ、ドウモ系統的ニ來ル者
ガ多イヤウデアアル、ソレダケニ私共同
情スル、自ラ放蕩シテ瘡ヲ搔イタナ
ラ、是ハ構フコトハナイ、一寸好イコト
ヲシタ天罰ダカラ宜シウゴザイマス
ガ、癩ハ自ラノ作爲ニアラズシテ病ニ罹
ッテ世ノ中カラ排斥サレテ、親族ニマデ
モ嫌ハレ、是ガ爲ニ縁談ヲ妨ゲラレル、
是程悲慘ナモノハナイト考ヘル、同時
ニ草津ナドヘ來テ居ル者ヲ見ルト、九
州カラ來タ者モアリ、北海道カラ來タ
者モアル、態アノ山ノ中ヘ病ノ身體
ヲ運ンデ來ル、斯ウ云フヤウナ状態デ
アル、而モ電車鐵道ガアリマスケレド
モ、電車鐵道ハ其病人ハ乗セナイ、マダ
政府デヤッテ居ル本線ノ方ハ大目ニ見
テ、少シ位ナラ乗セモ致シマスケレド
モ、モウ草津ニ參リマス患者ハ、輕井澤
電車ノ如キハ乗セナイ、病ノ身デアリ
ナガラ、乗り得ル電車ニモ乗ルコトガ
出來ナイデ、辛イ思フシテ草津ノ下ノ
湯ノ澤ヘ歩イテ來ル、斯ナ状態デア
ル、サウシテ今日ハ集マル者五百名、是
ハ昔カラノ言傳ヘデアアルカドウカ、多
分サウダラウト思ヒマスケレドモ、天
然ノ療養所ダト云フ所カラ來ルノデア
リマセウガ、中ニハ相當ノ知識階級ノ人
デ、學生ナドノ如キハ、早イ中ニ來テ其
湯ニ這入ッテ療養スルト治ル、現ニ治ッ
テ社會ニ活動シテ居ル者モ二三アリマ
ス、ソレ故或ハ效能ガアルカトモ思ハ
レル、確カナコトハ能ク分リマセウガ、

私ノ知ッテ居ル人デモ、現ニ昨年マデ草
津ニ療養ニ行テ居ッテ家ヲ持チ、相當ノ
店マデモ拵ヘ、旅店マデモ開イタ所ガ
段々其方ノ病氣ガ治ッタ爲ニ、家ヲ仕舞
ッテ今日デハ瀧野川ノ西ヶ原ニ歸ッテ
居リマス、斯ウ云フモノヲ見ルト或ハ
治ルカトモ思ハレル、是ハ湯ノ中ニ硫酸
ガアリマスカラ、現ニ此下流ノ村ニ住
ンデ居ル人々ハ、此硫酸デ殺菌サレル
爲ニ別ニ故障モ言ハヌデ、各府縣ヨリ
參リマス患者ノ來ルノヲ其儘見テ居ル
ト云フヤウナ状態ニナッテ居ル、ソレデ
今日家ノ數モ二百位アリマセウ、患ッ
居ル者ハ五百モアル、斯ナ譯デアリ
マスカラ、世ノ中ノ援助モ受ケズ、溫泉
ト云フモノヲ利用シテ、治シタイ治シ
タイト云フ一心カラ此處ニ來テ居ルノ
デアリマス、中ニハ帝大ナドヲ出タ、相
當知識學問ノアル人モ來テ治ッテ歸ッ
居ル人モアル、現在區長ヲシテ居ル某
ナドモ、本名ガ違ッテ居ル、ソレハ何故
カト言ヘバ、矢張親戚ニ對スル遠慮ト
云フヤウナ關係カラ、名ヲ僞ッテ居ルノ
デアアル、斯ウ云フ點カラ警察モ見テ見逃
シ、僞名ヲシテ居ッテモ咎メナイト云フ
状態ニナッテ居リマス、サウシテ此湯ノ
澤ト云フ所ハ、以前ハ一區劃ヲナシテ、
草津ノ溫泉場カラハ離レテ居リマシタ
ガ、近年此處ニ來ル人ガ殖エタ爲ニ殆
ド草津ノ溫泉場ト接近シテシマッタ
云フヤウナ風デアアル、若シ此病氣ガ眞
ニ傳染病デアアルナラバ、公衆衛生ノ爲

メ之ヲ今少シク隔離シ、サウシテ外國
ノ人ナドモ浴客トシテ來ルノデアリマ
スカラ、政府トシテモ之ヲ見逃シテハ
ナルマイト思フ、斯ウ云フヤウナコト
カラ、私ハ其道ノ人ニモ話シタコトガ
アリマスガ、ドウモ力及バズシテ、今尙
健康地帯ノ溫泉場ト接近シテ居ルノデ
アリマス、傳染病ト云フコトガ、實際
上、學說上確カデアアルナラバ、內務當局
デモアノ儘デハ置カレマイト思フ、此
處ニ住ンデ居ル人々モ、何等ノ消毒ナ
シニ此方面ヲ歩イテ居ル、小學校ノ生
徒モ、此區域デ生レタ所ノ子供等ハ、何
等ノ消毒モセズニ學校ヘ出テ來ル、斯
ウ云フ風ニ政府自ラ認メ、學者亦認メ
テ傳染病ダト言ッテ居リナガラ、此患者
ノ居ル所ノ區域ノ子供ガ、健康地ノ小
學校ニ通フト云フヤウナコトハ、公衆
衛生ノ爲ニモ、何等カノ施設ヲシナケ
レバナラヌ筈ノモノト思フ、他人ノ力
ヲ藉ラズ、自分ノ力デ療養シテ、ドウカ
健康體ニナリタイト努力シテ居ル、併
シ政府ガ傳染病ダト云フ確信ヲ持ッテ
居ルノナラバ、公衆衛生ノ上カラ、縣ト
シテモ國家トシテモ、茲ニ相當ノ施設
ヲシナケレバナラヌ筈デアアル、一方ニ
ハ癩療養所ト云フモノヲ全國ニ五箇所
モ拵ヘテ、多大ノ金ヲ使ッテ居ル、熊本
縣ノ如キハ漸ク二百五十人位ノ定員
デ十二萬圓モノ金ヲ使ヒ、或ハ青森
縣ニ於キマシテモ、百六十人ノ定員
位ニ六萬圓ノ金ヲ使ッテ居ル、一方ハ五

百人モ居ッテ、鑑一文、社會ハ之ニ投ジテ
吳レナイ、公衆衛生トシテモ之ニ注意
シナイ、此點ガドウモ此頃ノ流行言葉
ニ社會政策ナド、云フケレドモ、洵ニ
缺陷デハアルマイカト思フ、ソレデ是
ハ私共ノ力ガ足ラナイノデアラウガ、
政府トシテモ醫術ノ方面ニ於テハ色々
ナ事ガ備ハッテ居ルノデアアルガ、日本ハ
山紫水明ノ地デ、外國カラ旅行者ガ來
ル、來レバ草津ノ溫泉ヘ參リマス、然ル
ニ之ガ草津溫泉地帶トクッ付イテ居ル、
斯ウ云フコトニナルト、健康衛生ノ方
面ニ注意ヲスル外國人ナドハ、尙更長
ク其處ニ滞在シヤウト思ッテモ、滞在ノ
觀念ト云フモノガ薄ライデ來ルト云フ
コトニナリハシナイカト思フ、全體カ
ラ申シテ、既ニ療養所ヲ拵ヘテ、多額ノ
金ヲ各府縣ガ使ッテ居ルガ、一方ニ於テ
癩患者ト云フモノガ一ツノ團體ヲ成シ
テ此處デ療養シテ居ル、又全國的ニ調
ベテ見テモ、隨分澤山神社佛閣ニ參詣
シテ居ル者モアリマスケレドモ、癩患
者ノミ纏ッテ居ルト云フ所ハ、熊本ヘ參
リマシテモ、四國ヘ參リマシテモ、サウ
ハ居ナイ、其處ニ健康者ガ混ッテ居リマ
スケレドモ、草津ニ限ッテ此處ニ約五百
人ト云フ者ガ一團トナッテ、一種ノ村ヲ
成シテ居ル、米屋モ矢張其病氣ニ罹ッタ
人ガヤッテ居ッテ、筆ヲ執ルニモ斯ンナ
手付デヤッテ居ル、旅籠屋モ御主人公ハ
鼻ノカケテ居ル人トカ、指ノモゲテ居
ル人ト云フヤウナ工合デアッテ、雜貨商

マデモシテ居ル、斯ウ云フ状態ニナッテ
居ル、而シテ彼等自ラ家屋ト云フモノ
ハ一ツノ城廓デアアルカラ、之ヲ保護ス
ル爲ニハ火災豫防トシテ昔ナガラノ唧
筒ガアリマス、尙最近ニハ「ガソリン」
唧筒サヘモ三千圓モ出シテ購ッテ居ル、
町カラモ五百圓ノ補助ヲシテ居ル、サ
ウシテ警察官ナドガ巡視ニ行クト、之
ヲ病上リノ不自由ナ身體ノ人ガ運轉シ
テ見セテ居ル、警察官ナドハ其巧妙ナ
ノニ感心シテ居ル、此位自治的ニ出來
テ居テモ、机ノ上デ法律的ニ團體ト云
フ固マリデナケレバ、政府ハ鑑一文モ
補助シナイト云フノハ、是ハ三百のデ
アル、サウシテ一方ニ於テ「リデル」夫
人ハ宣傳ガ上手デアアルカラ、之ニ向ッテ
ハ前申サヤウニ帝室ノ御惠澤金マデモ
與ヘラレテ居ル、然ルニ多數ノ同ジ患
者デアリナガラ、之ニ浴スルコトガ出
來ナイ、一ツハ宗教ノ力デアラウガ、同
ジ陛下ノ民デハナイカト言ッテ、腹ノ
中デハ涙ヲ落シテ居ル状態デアアル、是ハ
大キク見テ、政府ノ財政ガ辛イノデア
ルカラ、金ヲ澤山使ハナイデ公衆衛生
ノ實ヲ舉ゲルト云フコトニ思フ及ボシ
タナラバ、惡イ傳染性質ノ病氣ニ罹ッテ
居ル者ガ、此湯ノ澤ト云フ所ニ一團ヲ
成シテ居ル以上ハ、而モ五百人モアッ
テ、政府ガ之ヲ療養シタナラバ、尠クト
モ二、三十萬ノ金ハ要ルデアリマセウ、
之ガ鑑一厘モ入レテ居ラナイ、此處ヘ
持ッテ行ッテ少クトモ外ノ方カラデモ公

衆衛生ノ設備ヲシテヤルトカ何トカシ
テ、是ガ傳染病デアアルナラバ、ソレヲ豫
防スルダケノ注意ヲ拂フコトハ、國家
トシテヤッテヤラナケレバナラヌト思
フノニ、是ハモウ年々歳々御知リニナッ
テモ、山田衛生局長ハ之ヲ顧ミナイ、サ
ウシテ是ハ傳染病デアアルカラ、彼等ハ
自ラ自己ノ手ニ於テ療養ヲシ、人様ニ
御厄介ヲ掛ケナイト云フ、是レ程悲惨
ナ境涯ニナッテ居ル者ニ對シテ、國家ガ
之ニ補助ヲ與ヘテ浴場ノ設備ヲスルト
カ、醫療ノ支給ヲスルトカ、或ハ他ニ傳
染シナイヤウニ、健康地帶トノ隔離ヲ
スルト云フヤウナコトハ、所謂府縣ノ
五箇所ノ療養所ニ金ヲ投ズルトハ違ッ
テ、金ハ少額デアッテ傳染豫防ノ實ヲ舉
ゲルコトガ出來ハシナイカト私ハ思ッ
テ居ル、ドウモ日本人ノ缺點カモ知レ
マセヌガ、各方面デハ兎角政府ニ頼ッテ
何事モシタガル辯ガアリマスガ、而モ
此病人ダケハ世間ヲ憚リマスカラ、縣
廳ヘ行ッテ之ヲ訴ヘルコトモシナイ、内
務省ヘ行ッテ訴ヘルコトモシナイ、是ハ
文字モ天刑病ト云フヤウナ譯デ、世ノ
中ニ排斥サレテ居ル病人ダケニ、此點
ヲ考ヘナケレバナラヌト私ハ思フ、然
ルニ五百ト云フ多數ノ病者ガ居ルノ
ニ、之ヲ顧ミナイト云フコトハ甚ダ遺
憾ニ思フ、是ハ公衆衛生カラ見テモ、又
日本ガ外客ヲ招イテ成ルベク日本ニ金
ヲ落サセルト言フ方面カラ考ヘテモ、
此點ニ思ヒ至ラナケレバナラヌト思フ

ガ、山田局長ハ多年此方面ニ付テハ研
究シテ居ル筈デアアル、而モ社會ノ同情
ハ之ニ向ッテ餘リ喝采ヲ與ヘナイデア
ラウ、併シ世ノ喝采ヲ得ヤウガ得マイ
ガ、斯ウ云フ問題ハ社會問題デアルト
私ハ思フ、ドウカ政府當局モ華々シイ
仕事デハナイガ、金ヲ少シ使ッテ其實效
ガ舉ルノデアアル、國立療養所ノ如キモ
是カラ開業スルコトニナリマス、矢
張少ナクトモ年額十萬ヤ十四、五萬ノ
費用ハ要ルダラウト思フ、此草津ニ集
團ヲ成シテ居ル癩患者ニ對シテ、公衆
衛生ノ上カラ此金ノ十分ノ一デモ投ズ
ルダケノ考ヲ起シタナラバ、大變ナ效
果ガ現ハレルダラウト思ッテ居リマス、
私全國各所ヲ歩イテ見テモ、同ジ癩患
者ガ一團ヲ成シテ居テ、而モ此様ニ數
ノ多イト云フ所ハ何處ニモアリマセ
ヌ、幸力不幸力、此湯ニ硫酸ガアッテ殺
菌スルト云フヤウナ爲ニ、郡ノ總テノ
者ガ騒動ヲ起サヌト云フコトハ、一ツ
ノ不幸中ノ幸デアルト私ハ思ッテ居ル、
斯ウ云フヤウナ次第デアリマシテ、是
ハ山田サンハ多年衛生局長ヲヤラレテ
居ルノデアアルカラ、此點ハ知ッテ居ラレ
ル筈デアアルガ、金ヲ少シ使ッテ傳染豫防
ノ實ヲ舉ルト共ニ、公衆衛生ノ爲ニ非
常ニ有利エナルノデアアラウト思フガ、
ドウモ内務當局ハ府縣ノ療養所ノ所長
ノ申出ル擴張ニ付テハ考慮ヲ拂ッテ居
ラレルケレドモ、社會的ナ斯ウ云フ方面
ニ向ッテ考ヲ及ボサナイト云フコトハ、

私ハ洵ニ遺憾ニ思フノデアリマスガ、特ニ傳染病ト云フコトガ既ニ決定シタ以上ハ、此集團ニ向ッテ今日只今カラデモ遅クハナイカラ、一ツ一般ノ考慮ヲ拂ッテ戴キタイト思ッテ居リマス、是ハ今草津ノ話ガ出マシタカラ、茲ニ私ノ意見トシテ申上ゲテ置キマス

○加藤政府委員 只今木檜サンカラ癩患者ニ對スル公衆衛生、個人衛生ヨリ致シマシテ、又患者ノ心理状態ニマデ立入ッテ、洵ニ詳細ナル御意見ナリ、御抱負ノ一端ヲ承リマシテ、私共洵ニ同感ニ堪ヘナイノデアリマス、癩患者ノ心理状態ハ、私ガ申ス迄モナク、一旦癩病ニ罹リマス、其患者ハ世界ノ人類ガ我ノ如ク癩患者タレト云フ位マデ、癩患者ハ有ユル人ヲ呪フト云フヤウナコトヲ私耳ニ致シテ居ルノデアリマス、アノ不自由ナ身體ニナリ、自ラノ不品行ニ原因セズシテ、サウ云フ患者ニナルト云フコトノ心持ニ對シマシテハ、何人モ博愛仁慈ノ念ニ富ンデ居ル人類ト致シマシテ、私共之ニ同情ヲ拂ハナケレバナラヌモノデアラウト思フ、或時私ハ癩患者ノ告白ト云フ手紙ヲ見テ竊ニ涙ヲ流シタコトモアリマスガ、其様ナ立場カラ致シマスルト、政府ハ勿論ノコト、有ユル官民ノ方面ニ於キマシテ、此癩患者ノ救済及療養豫防ト云フコトニ付キマシテ、相當ノ設備ヲシ、相當ノ方法ヲ講ズルト云フコトハ勿論デアラウト思フノデアリマス、草津ノ

湯ノ澤ノ御話ガ出マシタノデアリマスガ、先程再三自由療養地區ノコトニ付キマシテ、私共將來ノ計畫ト云フコトヲ申シテ居リマシタノハ、實ハ湯ノ澤ノ方面モ考慮ノ中ニ置イテ居ルノデアリマシテ、只今木檜サンノ御話ニナリマシタ町ノ經費ノ一部ヲ國費デ以テ負擔スルトカ、或ハ公衆浴場ヲドウスルトカ其他衛生上ノ設備ヲドウスルトカ云フ部分的ノコトニ關シマシテハ、具體的ノコトハ申上ゲラレマセヌケレドモ、將來自由療養地區ノ實現ヲ期シ、然ラザル場合ニ於テハ法規ノ許ス限リ相當ノ努力ヲ致シマシテ、今御話ノ通り計畫ノ下ニ、金ヲ聯合府縣立ニ掛ケテ居ル程ノ經費ヲ要セズシテ、此目的ヲ達スルト云フ方法モ、十分考慮ヲ致シテ見タイト思フノデアリマスカラ、此事ヲ一言申上ゲテ置キマス

○田中委員 諄イヤウデアリマスルガ、今丁度木檜君ノ御説ト同ジャウニ、先程申シマシタヤウニ、マダ幸ヒ開設サレズニ、患者ノ收容ノ方針モ確定シテ居ラヌヤウデアリマスカラ、最前ノ御説ノヤウニ、此府縣カラ自由ニ收容ヲ許スト云フコトヲ、寧ロ私ハ止シタ方ガ宜イト思ッテ居リマス、幸ヒ今各府縣ニ平等ニ五箇所ナラ五箇所拵ヘテ、ソコヘ收容シテ居ルノデアリマスカラ、此國立ノ療養所ハ寧ロ此五箇所ノ療養所カラ、或ハ研究材料トカ、或ハ只今申シマシヤウニ手ニ及バナイ患者ト

カ云フヤウナ者ヲ收容シテ、ソレ以上ノ餘リガアルト云フコトナラバ、先程山田君ノ御説ノ如ク各府縣ノ浮浪者ヲ持ッテ行カウト云フコトデナク、今ノ療養所カラ按分率ニ依テ、モ其處ヘ收容スルヤウニナリマス、非常ニ公平ニ行ク、今日府縣デモ若シ一方ニ自由ニ患者ヲ入レルト云フコトデアレバ、府縣デ自由ニ患者ヲ入レ、バ、ソコニ手續モ一應ハシナケレバナラズ、二重ニ手續ヲ要スルヤウナコトニナラウト思ヒマス、實際問題トシテ此際初メテアリマスカラ、内務省ハ一定ノ方針ヲ定メテ置イテ、是デ地方ノ五箇所ノ療養所ノ中カラ取ッテ來ル、即チ五箇所ノ收容所ニ收容力ガ餘レバ、其處カラ其地方地方ヘ收容スレバ、結論ハ同ジコトニナリマスカラ、無論國立ト地方トハ平等ト言ッテモ幾分ソコニ國家ガ之ヲ經營スルト云フコトニ付テ、總テノ經營其他ニ付テ差等ガ出來ヤウ、現在ノ所、サウスルト收容サレタ患者ニモ不公平ニナリ、國家ガ現在ノ收容所カラ研究材料トシテ、特別ナ者ハ置イテ置クト云フ爲ニ、四百人ナリ五百人收容シ得レバ收容所ニ入レル、現在ノ五箇所ニ收容力ガアレバ其地方カラ入レルト云フコトニナレバ結論ハ同ジデ、手續ハ將來樂ダラウト思ヒマス、若シ山田君ノ御説ノヤウニ地方カラ取ラウトスレバ、三人五人ヲ取ラウト云フコトニ於テモ、地方トシテハ其地方々々ノ收

容所ニ收容シ切レナイ場合ハ、其手續ハ又全國カラ來ルト云フコトガ實際問題トシテ起ルト思ヒマス、私共事實斯ウ云フコトヲ知ッテ居リマシテ、府縣ニ手續ヲシタラ宜イデナイカト言ウテ注意シテ、縣廳ナラ縣廳トシテモ捨テル譯ニ行カナイカラ其手續ヲセンナラヌ、此際キチットシテ決メテ置イタ方ガ實際問題トシテ私ハ宜カラウト思フ、府縣ノ人等モ非常ニ實際仕事スル上ニ樂ダラウト思ヒマス、今日迄ト同ジ手續デ療養所ニ送り、其療養所カラ國立ニドウ云フ率デ取ラレテモ、ソレハ府縣ハ關係ガナイノデアリマスカラ、是ハ私ハ特ニ幸開設サレル前デアリマスカラ、此手續ヲサウ云フ方針デヤルコトガ宜イト思ヒマス、私ノ希望ヲ述ベテ置キマス

○山田内務省衛生局長 只今ノ御話ハ御希望ト云フコトデアリマスカラ十分承リマシテ、尙審議ノ際サウ云フ御希望ノアツタコトヲ先ヅ話ヲシテ、能ク審議スル積リデアリマス、先程申上ゲタコトハ實ハ昨年開キマシタ療養所長會議ニ相談シテ見タ所デ、先ヅサウ云フ方ガ宜カラウト云フヤウナコトニ、大體右ノ意見デアリマシタカラ、サウ云フ風ニ御答ヘ申上ゲタノデアリマシガ、手續ト致シマシテハ、聯合府縣ハ聯合府縣ノ療養所ニ先ヅ問合セテ、滿員デアル場合ニハ初メテ國立療養所デ取ッテ吳レルカト云フコトヲ申出デルヤ

ウニスル外ナイト思ッテ居リマスガ、事實各府縣カラ直接取ル場合ニハ——尙今年モ療養所長會議ヲ開ク積リデアリマスカラ、國立療養所ガ出來ル前ニハ、其意見ハ經驗家ノ事デモアリ、十分尊重ヲ致シタイト思ッテ居リマス、サウ云フヤウナ時ニハ御話ノアッタコトハ申述ベマス、唯只今御說ノ通りニスルト云フコトノ御約束ハ出來兼ネマスガ、能クサウ云フ手傳ハ考慮ノ中ニ置イテ考ヘルコトニ致シマス

○田中委員 實際問題トシテサウ云フコトガ起リマスガ、是ハ何デモナイ出來事デアリマスカラ……

○大里委員長 ソレデハ今日ハ此程度デ散會致シマシテ、次回ノ開會ハ何レ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時十分散會